

(様式1)

このシート(必須1)～(必須4)は必ず入力が必要です

神奈川県マクカル展開促進補助金交付申請書

交付申請日

令和7年6月15日

神奈川県知事 殿

令和7年度の標記補助事業について、補助金の交付

半角数字で○/△と入力してください(自動的に和暦表示されます)

1 申請団体の概要

(1)ふりがな	いっばんしゃだんほうじんかながわけきだん			法人は法人格を含めて記入してください
(2)申請団体名	一般社団法人 かながわ劇団			
(3)代表者役職名	代表理事			7桁の数字をそのまま入力してください(ハイフン不要)
(4)代表者名(本名)	横浜 太郎			
(5)郵便番号	〒 231-8588			結果を郵送しますので、郵便物が届く詳細な住所を記入してください。団体名での登録をしていない場合は、〇〇方 まで記入してください。
(6)所在地	神奈川県横浜市中区日本大通 1			
(7)個人情報管理責任者名	川崎 花子			
(8)連絡担当者の役職又は所属	会計			ハイフンをいれてください
(9)連絡担当者名	藤沢 一郎			
(10)電話番号	① 045-XXX-XXXX		② 070-XXXX-XXXX	
(11)E-mail	****@****.co.jp			
(12)団体設立年月	平成10	年	4	月
(13)構成員数	30	人		
(14)団体又は団体の主要な構成員の実績		実施年月	事業名・内容等	チラシ
	①	令和6年12月	第40回公演	全ての実績を網羅する必要はありません。団体(又は団体の主要な構成員)が申請事業と同一分野における公演等の実績を有することが分かるように記入してください。申請団体が主催でない事業の場合は、どのような関わり方をしたのかも記
	②	令和6年2月	△△△賞	
	③	令和5年10月	〇〇記念物	
(15)コンプライアンス(法令遵守)に関する考え方 ※個人情報保護、会計 税務、内部統制等	業務上知り得た個人情報とは 具体的な項目は任意ですが、法令を遵守するため、どのような姿勢でどのような取組を行っているかを記入してください			

2 団体の役員等氏名一覧

このシートは必ず入力が必要です

(1)代表者

役職名	氏 名		生年月日 (大正T, 昭和S, 平成H)				性別	住 所
	かな	漢字	元号	年	月	日		
代表理事	ヨコハマ タロウ	横浜 太郎	S	50	3	18	M	横浜市中区山下町***

代表者の役職名と漢字は自動入力です

(2)役員<法人格を持たない団体の場合は記入不要です。>

役職名	氏 名		生年月日 (大正T, 昭和S, 平成H)				性別	住 所
	かな	漢字	元号	年	月	日		
理事	カワサキ ハナコ	川崎 花子	S	55	8	20	F	川崎市高津区溝口***
理事	ヨコスカ ジロウ	横須賀 次郎	H	4	10	10	M	横須賀市日の出町***
理事	オダワラ サブロー	小田原 三郎	H	1	7	7	M	小田原市荻窪***
監事	ハコネ ヤムユリ	箱根 やまゆり	S	60	3	15	F	足柄下郡箱根町元箱根***

法人については、登記等の内容に応じて役員全員を記載してください。
 ※監査役の記載漏れが散見されます。御注意ください。
 任意団体については、(1)の代表者のみを記載してください。
 また、氏名は本名で、住所は最後まで記載してください。
 この一覧は、暴力団員に該当するか否かの神奈川県警察本部長への照会のみ
 使用し、事業内容の評価には関係しません。

3 誓約

- (1)当団体は、団体の意思を決定し、執行する体制を確立しています。
- (2)当団体は、自ら経理し、監査する会計組織を有しています。
- (3)当団体は、県税その他の神奈川県に対する金銭債務の支払に滞納がありません（ただし、地方税法第15条に基づく徴収猶予を受けている場合を除く）。
- (4)当団体は、暴力団ではありません。
- (5)当団体は、代表者又は役員（法人格を持たない団体にあっては、代表者）のうちに暴力団員に該当する者はありません。
- (6)団体の役員等氏名一覧に記載した全ての者は、前号に該当するか否かの確認のために個人情報神奈川県警察本部長に提供することを同意しています。
- (7)申請内容及び添付資料に記載された情報に偽りはありません。情報に偽りがあることが発覚した場合には、当方が不利益を被ることとなっても、異議は一切申し立てません。

(1)～(7)をよく確認して誓約してください。誓約がないと補助金を交付できません

誓約	上に記載のとおり	誓約します
----	----------	-------

4 補助事業の内容

このシートは必ず入力が必要です

(★)の欄は、「(4) 地域固有の伝統芸能及び民俗芸能（特採事業の申請）」の付録と併記する場合は記載不要です。

(1)ふりがな	かながわけきだんに一ぜろに一ごーすぺしゃるこうえん「だいやだいやだいや」				
(2)事業名	かながわ劇団2025スペシャル公演「◆◆◆」				
(3)事業分野 主たるものに◎を選択 従たるもの（任意）に○を選択 ※従たるものは複数可	文学 ◎ 演劇 民俗芸能	音楽 ○ 舞踊 生活文化	美術 伝統芸能 国民娛樂	写真 芸能 その他（ ）	「その他」を選択した場合は括弧内に分野を記入
(4)事業実施日 ★	始	令和7年11月8日	～	終	令和7年11月9日
(5)実施会場名 ★	〇〇会館 小ホール				
(6)会場所在地 ★	平塚市西八幡△-△-△				
(7)	市町村名から記入してください 当劇団は「高齢者の力で社会を」演目では、ワークショップし、多世代交流を図る。超えた交流により生まれ石若と高齢者の相互理解を深めまた、起用した若手にはスタッフワークにも携わ 〇公演や展示等を実施する日（令和7年8月29日から令和8年3月31日までの間） 〇1日のみの実施の場合は始期と終期を同日にしてください。 〇期間をあけて複数日開催する場合は、メインの開催日を記入してください。				
(8)実施内容	令和7年11月8日及び9日に、〇〇会館小ホールで公演「◆◆◆」を実施する。 この公演は、かながわ劇団脚本家××の新作である△△の…… 〇〇については、(7)に記載したとおり…… 補助事業を行うことで何を成し遂げようとしているのか（あるいはどういう状態まで到達しようとしているのか）を記入してください				
(9)新たな事業であることの説明 (いずれかを選択の上、説明を記入)	■ 申請者が過去に実施していない事業 補足説明 (8)に記載したとおり、かながわ劇団脚本家××の新作公演である。また、ワークショップオーディションにより若手を起用することは……				
	□ 申請者が過去に実施した事業に新たな取組を加える事業 新たな取組の内容				
	□ 前年度採択事業の継続 採択初年度				
	採択時の新たな取組の内容				

(10)対象者、参加目標人数、広報の手法	集客目標××人 ○高齢者をターゲットとした広報とし ○演劇に興味のある人の目に触れるよ ターゲットとしたSNSの有料公告を・・・						○達成目標は可能な限り定量的に示してください。例：何名、会場定員の何割、視聴回数何回など ○広報の手法は、不特定多数への事業公開を重視する本補助金の重要なポイントです。効果的な訴求方法を提案してください。	
(11)主催・共催・助成・協賛・後援等とその内容 ※予定を含む ★	区分	団体等名						
	主催	かながわ劇団						
	共催	◆◆財団						
	後援	〇〇市					広報協力	
	★							
(12)入場料又は視聴料の有無 ★	有		(13)有の場合 価格	2,000 円から 3,500 円				
(14)翌年度以降の取組内容（予定）	イ 翌年度（ 令和8 年度）							
	今回のアンケート結果において参加者の××% 同じ取組を・・・した上で継続し・・・						補助事業を実施した後、関連する取組や団体運営をどのように発展させていくか3年目までの構想を書いてください。 ※今回採択されても、3年間の採択を保証するものではありません。	
	ウ 翌々年度（ 令和9 年度）							
	令和7年度・8年度の取組を発展させ、新たに							
(15)過去の採択実績	令和6年度	有	令和5年度	無	令和4年度	無		
(16)前年度に本補助金の交付を受け、本年度も継続して申請する場合 前年度目標の達成度合いの検証	令和6年度に採択を受けた「◎◎◎」では集客目標に届かなかった。この原因について・・・ この欄は、前年度に採択を受けた団体のみ記載してください。 前年度の目標達成状況から、指標や数値設定の適切さ、事業の改善点等を記載してください。 PDCAサイクルを回して事業を発展させていく意欲と能力を確認します。							

5 補助金交付に係る希望の内容

このシートは必ず入力が必要です

(1)希望申請区分及び交付申請額 ※複数可。ただし、(3)と(4)の両方を選択することは不可。 ※複数の区分を申請した場合、採択（交付決定）の際には認定された区分の中から最も高い額の交付申請があったものとします。	交付申請額		1,604,000 円	
	希望申請区分		申請区分別の額	
	☒	(1)共生社会の理念並びにへいわなまちづくり事業（高齢者・障害者）	1,604,000 円	
	☐	(2)地域が主体で個性化を図る事業	円	
	☐	(3)地域固有の伝統事業（当年度）	円	
	☐	(4)地域固有の伝統事業（将来）	円	
	☒	(5)若年者を対象とする事業	1,069,000 円	
	☒	(6)通常事業	912,000 円	
※特認が不認定でも交付を希望する場合を含む				
(2)事業期間	始	令和7年4月1日	～	終 令和7年12月31日
(3)事業期間における具体的な業務スケジュール	4月 オーディション広 5月 オーディンション 8月 チラシ完成、広報 チケット販売開始 公演実施 ～12月 精算 事業期間内すべてのスケジュールを記入してください 補助事業に着手してから完了するまでの期間を記載（令和7年8月29日※から令和8年3月31日までの間 ※（3）に交付決定前に着手（経費の支出）をせざるを得ない適切な理由を記載すれば、始期を4月1日からとすることが可能）。事業期間内に発注し、請求書を受領したものが補助対象経費となります。事業期間が短くなりすぎないよう御注意ください。			
交付決定前に着手する場合、理由	交付決定後の着手では出演者の確保 事業期間の始期を8/29以前としている場合に記入してください			
(4)概算払の希望	希望 する			
概算払を希望する場合、必要性	10月に経費を支払う必要があるため 概算払いを希望する 概算払を希望する場合、早期に資金が必要となる理由を記入してください			

自動入力です

希望する区分の口を■にしてください。
(1)～(6)用のシートを入力すると、自動で金額が表示されます。

(1)～(5)が不認定でも交付を希望する場合は、(6)も選択して(6)用の収支予算も記入してください

<申請区分(1)共生社会の理念普及につながる事業（高齢者・障がい者・多文化共生等）>

6 特認区分要件該当性

このシートは(1)の申請を希望する場合のみ記入してください。
希望しない場合は記入不要ですので、非表示にしてください。

当てはまる方を選択してください。

☒	①共生社会（高齢者・障がい者等） 運営者、主要な出演者、参加者又は入場者等のいずれかについて、概ね2分の1以上が高齢者や障がい者などの文化芸術へのアクセスが困難な方となるよう意図的に企画している
☐	②共生社会（多文化共生等） 実施により、多文化共生等様々な個性を持つ者同士の相互理解につながる

【①を選択した場合に記入】

参加見込み人数（意図的に企画している部分のみ記入）（単位：人）

	運営者	主要な出演者、参加者	入場者	その他
高齢者 (65歳以上の方)		30	340	
障がい者 (その他文化芸術へのアクセスが困難な方)		0	10	
小計		30	350	
その他の人数		10	150	
合計		40	500	

割合		75.00%	70.00%	
----	--	--------	--------	--

補足事項 (主要な出演者の説明や、協働する施設、募集方法など、「意図的に」の説明)	当劇団は・・・であり、メインキャストを含む出演者の75%以上が高齢者である。 高齢者に多く入場していただくため、・・・にチラシを配布する。 ×××と協働して〇〇障がいのある方10名程度を・・・
--	--

【②を選択した場合に記入】

この事業の実施により、なぜ様々な個性を持つ者同士の相互理解につながるのか、その理由を具体的に記入してください。

--

7 補助事業の収支予算

収入の部

単位：円

項目	予算額	積算内訳
神奈川県マグカル展開促進補助金	1,604,000	$(3,508,000 - 300,000) \times 1/2 = 1,604,000$
□□市補助金	300,000	
〇〇補助金	200,000	申請中
入場チケット収入	1,375,000	$2,000 \times 150$ 人、 $3,000$ 円 $\times$ 50人、 $5,000$ 円 $\times$ 50人
広告	30,000	5000 円 $\times$ 6者
協賛	30,000	1者（補助対象外経費に充てられる）
寄附金	30,000	用途の指定なし
自己負担	413,800	
収入合計 (支出合計と一致)	3,982,800	

○千円未満切捨て
○補助対象経費の1/2より大きい場合は赤く着色されます

申請中の他の補助金は補助対象経費から控除しません。申請中と記入してください。

不要な行は非表示にしてください

用途の指定がない寄附金は補助対象経費から控除しません。用途の指定なしと記入してください。

自己負担がマイナスの申請は認められません

支出の部

単位：円

項目	予算額	積算内訳
会場費	440,000	公演会場〇〇会館 $80,000$ 円 $\times$ 5日 = $400,000$ 稽古場□□スタジオ $2,000$ 円 $\times$ 20日 = $40,000$
文芸費	1,250,000	舞台監督 $300,000$ 、舞台美術 $200,000$ 、音響プラン $200,000$ 、 道具プラン $100,000$
舞台費	603,000	小道具費 $100,000$ 、舞台美術費 $50,000$ 、舞台設営費 $50,000$
出演料	200,000	$20,000$ 円 $\times$ 40人（消費税の免税事業者）
制作費	235,000	チラシ作成費 $50,000$ 、 衣装費 $5,000$ 、チケット代 $180,000$
備品修繕費	160,000	今回の公演には〇〇が必要不可欠であるが、レンタルをするよりも当劇団が所有しているものを修繕したほうが価格を安く抑えることができるため

合計が一致するようにしてください

できる限り単価 $\times$ 数量を記入してください

税抜

消費税が課税されない経費はそれが分かるように記入してください

不要な行は非表示にしてください

10万円以上の備品購入や修繕を行う場合（手引きp10参照）は、ここで必要性を説明してください

補助対象外経費	宿泊費	20,000	今回特別ゲストとして招聘する〇〇氏は△△在住であることから、8/22～23に宿泊が必要である。
	補助対象経費計(a)	3,508,000	宿泊費は誰がいつどういう理由で宿泊するのか説明を記入してください
	補助対象経費に係る消費税及び地方消費税相当額	270,800	※通常、補助対象経費のうち、不課税取引を除いた額の10%
	カーター	203,000	
	振込手数料	1,000	
	補助対象外経費計(b)	474,800	補助対象外経費は税込で記入してください
支出合計(a+b)		3,982,800	

不要な行は非表示にしてください

<申請区分(2)地域が主体で文化芸術活動を通じて地域活性化を図る事業>

6 特認区分要件該当性

(2)の申請を希望しない場合は、このシートは記入不要です。
非表示にしてください。

事業実施会場周辺の住民や商店、自治会等地域の様々な関係者が、主催者やスタッフ、協力者として実施に関与していることの説明をしてください。

関与している者		関与の内容	
関与している者		関与の内容	
関与している者		関与の内容	
関与している者		関与の内容	

※申請者が実行委員会の場合は、構成員名簿を提出してください。

どのように地域の様々な方を巻き込み一体となって文化芸術活動を通じた地域活性化に取り組むのか、具体的に説明してください。

事業を実施することで、どのように地域活性化が図られるのか、具体的に説明してください。

7 補助事業の収支予算

収入の部

単位：円

項目	予算額	積算内訳
神奈川県マグカル展開促進補助金		
自己負担		
収入合計 (支出合計と一致)		

支出の部

単位：円

項目	予算額	積算内訳
補助対象経費		
補助対象経費計(a)		
補助対象経費に係る消費税及び地方消費税相当額		
補助対象外経費計(b)		
支出合計(a+b)		

<申請区分(3)地域固有の伝統芸能及び民俗芸能に関する事業（当年度の公開事業）>

6 特認区分要件該当性

(3)の申請を希望しない場合は、このシートは記入不要です。
非表示にしてください。

伝承地域	
おおよその開始時期	
内容、地域固有の伝統芸能及び民俗芸能であることの説明	

7 補助事業の収支予算

収入の部 単位：円

項目	予算額	積算内訳
神奈川県マグカル展開促進補助金		
自己負担		
収入合計 (支出合計と一致)		

支出の部

単位：円

項目		予算額	積算内訳
補助対象経費			
補助対象経費計(a)			
補助対象外経費	補助対象経費に係る消費税及び地方消費税相当額		
補助対象外経費計(b)			
支出合計(a+b)			

<申請区分(4)地域固有の伝統芸能及び民俗芸能に関する事業（将来事業の準備）>

6 特認区分要件該当性

(4)の申請を希望しない場合は、このシートは記入不要です。
非表示にしてください。

伝承地域	
おおよその開始時期	
内容、地域固有の伝統芸能及び民俗芸能であることの説明	

7 補助事業の収支予算

収入の部

単位：円

項目	予算額	積算内訳
神奈川県マグカル展開促進補助金		
自己負担		
収入合計 (支出合計と一致)		

支出の部

単位：円

項目	予算額	積算内訳
補助対象経費		
補助対象経費計(a)		
補助対象経費に係る消費税及び地方消費税相当額		
補助対象外経費計(b)		
支出合計(a+b)		

<申請区分(5)若年者を文化芸術に携わる人材として育成する事業>

6 特認区分要件該当性

このシートは(5)の申請を希望する場合のみ記入してください。
希望しない場合は記入不要ですので、非表示にしてください。

※若年者とは、実施年度の4/1時点で満15歳以上満25歳以下の者を指します。

全体の参加 見込み人数		40	人	若年者の参加者 見込み人数	5	人
若年者を文化 芸術に携わる 者として育成 するものでは あることの説明	事業の 目的	舞台芸術に携わる若年者の人材育成を目的に、若年者を・・・				
	事業の 内容	スタッフワークについて〇〇という専門家を講師とし・・・				

7 補助事業の収支予算

収入の部

単位：円

項目	予算額	
神奈川県マグカル展開促進補助金	1,069,000	$(3,508,000 - 300,000) \times 1/3 = 1,069,333 \dots$
■■市補助金	300,000	
〇〇補助金	200,000	申請中
チケット収入	1,375,000	2,000×150人、3,000円×500人、5,000円×50人
広告収入	30,000	5000円×6者
協賛金	30,000	1者（補助対象外経費に充てられる）
寄附金	30,000	使途の指定なし
自己負担	948,800	
収入合計 (支出合計と一致)	3,982,800	

○千円未満切捨て
○補助対象経費の1/3より大きい場合は赤く着色されます

申請中の他の補助金は補助対象経費から控除しません。申請中と記入してください。

不要な行は非表示にしてください

使途の指定がない寄附金は補助対象経費から控除しません。使途の指定なしと記入してください。

自己負担がマイナスの申請は認められません

支出の部

単位：円

合計が一致するようにしてください

項目		予算額	積算内訳
補助対象経費	会場費	440,000	公演会場〇〇会館80,000円×5日=400,000 稽古場□□スタジオ 2,000円×20日=40,000
	文芸費	1,250,000	舞台監督300,000、舞台美術200,000、音響プラン200,000、小道具プラン100,000
	舞台費	603,000	小道具費213,000円、舞台美術費80,000円、衣装費80,000円、舞踏衣装費80,000円
	出演料	200,000	20,000円×40人（消費税の免税事業者）
	制作費	235,000	チラシ作成費50,000円、消耗品費5,000円、
	備品修繕費	160,000	今回の公演には〇〇が必要不可欠であるが、レンタルをするよりも当劇団が所有しているものを修繕したほうが価格を安く抑えることができるため
	宿泊費	20,000	今回特別ゲストとして招聘する〇〇氏は△△在住であることから、8/22～23に宿泊が必要である。
補助対象経費計(a)		3,508,000	
補助対象外経費	補助対象経費に係る消費税及び地方消費税相当額	270,800	
	ケーキ代	203,000	
	振込手数料	1,000	
補助対象外経費計(b)		474,800	
支出合計(a+b)		3,982,800	

できる限り単価×数量を記入してください

税抜

消費税が課税されない経費はそれが分かるように記入してください

不要な行は非表示にしてください

10万円以上の備品購入や修繕を行う場合（手引きp10参照）は、ここで必要性を説明してください

宿泊費は誰がいつどういう理由で宿泊するのか説明を記入してください

不要な行は非表示にしてください

※通常、補助対象経費のうち、不課税取引を除いた額の10%

補助対象外経費は税込で記入してください

6 補助事業の収支予算<(6)を希望する場合>

収入の部

単位：円

項目	予算額	
神奈川県マグカル展開促進補助金	912,000	$(3,038,000 - 300,000) \times 1/3 = 912.666 \dots$
■■市補助金	300,000	
〇〇補助金	200,000	申請中
チケット収入	1,375,000	$2,000 \times 150 \text{人}, 3,000 \text{円} \times 50 \text{人}$
広告収入	30,000	$5000 \text{円} \times 6 \text{者}$
協賛金	30,000	1者（補助対象外経費に充てない）
寄附金	30,000	使途の指定なし
自己負担	635,800	
収入合計 (支出合計と一致)	3,512,800	

○千円未満切捨て
○補助対象経費の1/3より大きい場合は赤く着色されます

申請中の他の補助金は補助対象経費から控除しません。申請中と記入してください。

不要な行は非表示にしてください

使途の指定がない寄附金は補助対象経費から控除しません。使途の指定なしと記入してください。

自己負担がマイナスの申請は認められません

支出の部

単位：円

項目	予算額	予算内訳
会場費	360,000	公演会場〇〇会館80,000円×4日=320,000 稽古場□□スタジオ 2,000円×20日=40,000
文芸費	900,000	舞台監督250,000、舞台美術150,000、音響プラン150,000、道具プラン150,000
舞台費	603,000	小道具費100,000、舞台美術費50,000円、舞
出演料	200,000	20,000円×38人（消費税の免税事業者）
制作費	235,000	チラシ作成費50,000、消耗品費5,000円、チ
備品修繕費	160,000	今回の公演には〇〇が必要不可欠であるが、レンタルをするよりも当劇団が所有しているものを修繕したほうが価格を安く抑えることができるため

合計が一致するようにしてください

税抜

できる限り単価×数量を記入してください

不要な行は非表示にしてください

消費税が課税されない経費はそれが分かるように記入してください

10万円以上の備品購入や修繕を行う場合（手引きp10参照）は、ここで必要性を説明してください

補助対象経費

補助対象外経費	宿泊費	20,000	今回特別ゲストとして招聘する〇〇氏は△△在住であることから、8/22～23に宿泊が必要である。
	補助対象経費計(a)	3,038,000	
	補助対象経費に係る消費税及び地方消費税相当額	270,800	
	ケーキ	203,000	
	振込手数料	1,000	
	補助対象外経費計(b)	474,800	
支出合計(a+b)		3,512,800	

不要な行は非表示にしてください

宿泊費は誰がいつどういう理由で宿泊するのか説明を記入してください

※通常、補助対象経費のうち、不課税取引を除いた額の10%

補助対象外経費は税込で記入してください